

中経連ナノテクミッション 報告

中経連は、11月17日から26日まで、中部地域のナノテク関連施設を活用した今後一層の産業振興を図るため、欧州のナノテク最先進国であるドイツへミッションを派遣し、ナノテク関連研究機関との技術交流等を行った。

1.ドイツ訪問の理由

ドイツは欧州で第一のナノテク研究開発国。ナノテクを国家戦略テクノロジーと位置付け、重点的な産業技術政策が推進されている。特にザクセン州ドレスデン地域には、世界的に有名なフラウンホーファー研究協会、ライプニッツ研究協会などの研究施設が集積した研究開発クラスターを形成している。

なお、中経連とザクセン州とは、これまでも相互交流の経緯がある。

2.ミッション構成員

代表：神尾中経連副会長

参加団体：(財)ファインセラミックスセンターナノ構造研究所、(株)デンソー、(株)豊田自動織機、愛知県、三重県

事務局：(財)中部活性化センター、中経連

総勢9名



ティリヒ首相、ユルク大臣との懇談

3.訪問先およびプログラム

○ベルリン

●ジェトロ・ベルリンセンター山室所長による

るブリーフィング

●アドラースホフ・テクノロジーパーク 視察懇談

●フェルディナンド・ブラウン超高周波技術研究所 視察懇談

●ベルリン・シンクロトロン・照射エレクトロン貯蔵リング協会 視察懇談

○ドレスデン/ザクセン州

●ザクセン州経済振興公社との経済懇談

●フラウンホーファー・セラミック技術・システム研究所 視察懇談



フラウンホーファー・素材・照射技術研究所を視察

●ザクセン州ティリヒ首相、ユルク経済労働大臣との懇談

●ドレスデン工科大学トリデンバーグ研究所 視察懇談

●フラウンホーファー・素材・照射技術研究所 視察懇談

●フラウンホーファー・電子ビーム・プラズマ研究所 視察懇談

●TDDK社 工場視察

●ライプニッツ固体・加工材料研究所 視察懇談

●ドレスデン工科大学・応用光物理研究所視察懇談

4.訪問内容

○ナノテク関連研究機関訪問

●ベルリンでは、学術研究都市であるアドラースホフ地域において、テクノロジーパーク内の2つの研究所を訪問し、ドイツにおけるナノテク分野での産学官連携の現状を調査するとともに、4つの研究機関幹部らと「研究開発と産業・企業との係わりのあり方」などにつき意見交換した。



学術研究都市アドラースホフでの意見交換

●ドレスデンでは、ドイツを代表する研究ネットワーク機関であるフラウンホーファー研究協会の3つの研究所、ライプニッツ研究協会の1研究所およびドレスデン工科大学の2つの研究所を訪問し、材料研究分野等での産学官連携による応用研究成果



右は電子顕微鏡の権威、ドレスデン工科大学・リヒテ教授



ライプニッツ固体加工材料研究所にて

として、事業化・製品開発に大きな実績をあげている現状を調査した。

○州政府および経済機関との懇談

●ザクセン州ティリヒ首相、ユルク経済労働大臣と懇談し、これまでの交流経緯も踏まえつつ、中部地域とザクセン州とのナノテク分野等での今後の協調のあり方について検討を深めていくことが重要との認識で一致した。

●今回のミッションにつき、全面支援を得たザクセン州経済振興公社では、フレーゼ副総裁ら幹部とミーティングを行い、日本有数の産業技術集積を有する中部地域において、ナノテク関連研究施設(ナノ構造研究所、高度部材イノベーションセンター、中部シンクロトロン光施設(仮称)計画等)を活用したイノベーションを図ることで今後一層の産業振興を目指していることを説明するとともに、双方の地域発展のため、引き続き交流を継続することを確認した。

○進出日系企業訪問

●ザクセン州には自動車関連、半導体関連で25の日系企業が進出しており、そのなかで(株)豊田自動織機と(株)デンソーの合弁会社であり、欧州最大級の太陽光発電パネルが工場屋根に設置されているTDDK社を訪問し、工場ラインの視察に加え、現地での生産の現況につき懇談した。